

岩間 信之

茨城キリスト教大学文学部 准教授

## 東京都心部における高齢者世帯の孤立と生活環境の悪化

本研究の目的は、1) GIS(地理情報システム)を援用した、広域におけるフードデザートエリア抽出方法の開発、および 2) 東京都心部における高齢者の孤立と食料事情悪化問題の解明である。

研究の結果、東京都 23 区においてフードデザート問題の発生が危惧されるエリアを可視的に地図化することができた。また、高齢化が進む大規模団地である板橋区高島平団地でアンケートおよび聞き取り調査を実施した。その結果、生鮮食料品の買い物環境には比較的恵まれているにもかかわらず、高齢者世帯の栄養事情が著しく悪化していることが明らかとなった。その理由として、地域社会からの高齢者の孤立が挙げられる。回答者の大多数は、隣近所や地域コミュニティとのつながりが驚くほど希薄であった。引きこもりがちな高齢者は生活に張りがなく、健康管理やバランスの良い食生活の維持に対する意欲が低い。実際、栄養状態の悪い世帯では、健康管理に興味がないという回答も相対的に高かった。地域コミュニティの重要性が浮き彫りとなった。